

## 日本の植物学とローマ字の問題 4. 植物和名の綴りとローマ字表記 (金井弘夫)

## Hiroo KANAI: Japanese Botany and Roman Spelling 4. Japanese Plant Names and Their Roman Spelling

**Summary:** Roman spelling of Japanese plant name represents its pronunciation and does not always represent its Kana-moji spelling as shown in Table 1.

本項で述べるのは和名の表音式かなづかいの綴り（以下表音式綴り）と歴史的かなづかいの綴り（以下歴史的綴り）の問題で、ローマ字は直接関係ないが、現在日本の植物分類学で用いられている植物和名のローマ字表記は、発音を示す役目はしているが、元のかな綴りを反映するものではないことを示すために、あえて一連の流れとしておく。

学術用語集植物学編の付録には、日本植物分類学会編「植物科名の標準和名」の表がついている。用語集増訂版刊行当時、「これが『正しく』で、これ以外の綴りを使うと誤りなのか？」という質問が頻繁にあった。とくに、教育現場の人に多かったようだ。彼らは学生・生徒に教える立場にあり、正解は一つしかないという環境に慣らされているので、心配するのは無理もない。私の返事は「大勢の人がてんでに自分の好み名前や綴りを使うと、整理や情報交換がうまくいかないので、『ことある時にはこれを使う』という認識だから、正誤の問題ではない」というものだった。私は科の和名の選定の際に原資料を提供しており、日本植物分類学会の選定会議の基本方針はそういうニュアンスとして受け取っている。さもなければ質問には答えず、分類学会へ廻しただろう。だから「ことある時」でない場合にどんな綴りを使うかは、その人の自由であると考えている。Ericaceae に対してツツジ科を使うかシャクナゲ科を使うか

についても同様である。

表音式綴り、たとえば「キズタ」「カワジシャ」に対して、「キツタ」「カハヂシャ」と綴るべきであると、歴史的綴りを主張する人もいる。名前の語源からするとこれはもっともな主張なのだが、表音式が優勢な今日では、索引や検索という立場からすると例外的で使いにくい。しかし表音式綴り一点張りになってしまうと、これらの名前は単なる記号の列に過ぎなくなる。歴史的綴りの主張がときどきなされることによって、われわれが依って立つ文化の底流を知り、その変遷の果てに現在の綴りや発音があるのだということを認識するのに有用なので、歓迎すべきことだと思う。ただ、そういう意見表明は、特定の綴りだけでなく、なるべくまんべんなくいろいろな綴りに目配りしてもらいたいものである。

表1に思いつくままに植物名の表音式綴りとその歴史的綴り、およびそれらのローマ字綴りとの関係を示す。\*印は科名であり、植物科名の標準和名による。歴史的綴りは木村陽二郎（監）：図説草木辞苑(1988)による。前項からの流れで、ローマ字綴りも示した。これによれば、普通に和名の表現に用いられているローマ字綴りは「発音」を表すものであり、その綴りからは元のかな綴りを復元できないことは明らかと思う。つまり和名ローマ字綴り＝和名の発音であって、和名ローマ字綴り＝和名かな綴りではないのである。本報では訓令式を用いたが、これはヘボン式でも同じことだろう。

(184) 小金井市 Koganei-shi,  
Tokyo, 184 JAPAN)

表1. 植物名の表音式綴りと歴史的綴り (\*は科名. ローマ字は訓令式)

Table 1. Phonetic and Historical Kana-moji spellings and their Romanized spellings of plant names (\*family name). 1. Phonetic Kana-moji spelling. 2. Romanized spelling transcribed from "1". 3. Historical Kana-moji spelling. 4. Romanized spelling transcribed from "3". 5. Romanized spelling of "1" as phonetic sign. 6. Kana-moji spelling (pronunciation) transcribed from "5"

1 表音式綴り	2 1 に対する ローマ字	3 歴史的綴り	4 3 に対する ローマ字	5 発音としての ローマ字	6 5 に対する かな綴り (発音)
アジサイ	azisai	アヂサキ	adzisawi	azisai	アジサイ
* イチョウ	ityou	イテフ	itefu	ityô	イチョー
* イノモトソウ	inomotosou	キノモトサウ	winomotosau	inomotosô	イノモトソー
エノコログサ	enokorogusa	エノコログサ	yenokorogusa	enokorogusa	エノコログサ
エンドウ	endou	エンドウ	yendou	endô	エンドー
オウバイ	oubai	ワウバイ	waubai	ôbai	オーバイ
オカヒジキ	okahiziki	ヲカヒジキ	wokahiziki	okahiziki	オカヒジキ
オケラ	okera	ヲケラ	wokera	okera	オケラ
* オシダ	osida	ヲシダ	wosida	osida	オシダ
* オミナエシ	ominaesi	ヲミナヘシ	wominahesi	ominaesi	オミナエシ
* カエデ	kaede	カヘデ	kahede	kaede	カエデ
カジイチゴ	kaziitigo	カヂイチゴ	kadziitigo	kaziitigo	カジイチゴ
カジメ	kazime	カヂメ	kadzime	kazime	カジメ
カシワ	kasiwa	カシハ	kasiha	kasiwa	カシワ
カンアオイ	kan'aoi	カンアフヒ	kan'afuhi	kan'aoi	カンアオイ
カンゾウ	kanzou	カンザウ	kanzau	kanzô	カンゾー
* キョウチクトウ	kyoutikutou	ケフチクタウ	kefutikutau	kyôtikutô	キョーチクトー
コウゾ	kouzo	カウゾ	kauzo	kôzo	コーゾ
コウホネ	kouhone	カウホネ	kauhone	kôhone	コーホネ
* ザクロソウ	zakurosou	ザクロサウ	zakurosau	zakurosô	ザクロソー
ジシバリ	zsisibari	ヂシバリ	dzisibari	zsisibari	ジシバリ
* シュウカイドウ	syuukaidou	シュウカイダウ	syuukaidau	syûkaidô	シューカイドー
スイカ	suika	スイクワ	suikwa	suika	スイカ
* スイカズラ	suikazura	スヒカヅラ	suhikadzura	suikazura	スイカズラ
トウカエデ	touikaede	タウカヘデ	taukahede	tôkaede	トーカエデ
* ナンヨウスギ	nan'yousugi	ナンヤウスギ	nan'yausugi	nan'yôsugi	ナンヨースギ
* ニセモズク	nisemozuku	ニセモヅク	nisemodzuku	nisemozuku	ニセモズク
* バシヨウ	basyou	バセウ	baseu	basyô	バシヨー
* ブドウ	budou	ブダウ	budau	budô	ブドー
* ホンダワラ	hondawara	ホンダハラ	hondahara	hondawara	ホンダワラ
マイズルソウ	maizurusou	マヒヅルサウ	mahidzurusau	maizurusô	マイズルソー
マクワウリ	makuwaukri	マクハウリ	makuhauri	makuwauri	マクワウリ
ミョウガ	myouga	メウガ	meuga	myôga	ミョーガ
* ヤブコウジ	yabukouzi	ヤブカウジ	uabukauzi	yabukôzi	ヤブコージ
* ロウバイ	roubai	ラフバイ	rafubai	rôbai	ローバイ